



財政改革に対する市議会からの提言

名議法 第326号
平成28年2月24日

名張市長 亀井 利克 様

名張市議会議長 森脇 和徳



財政改革に対する意見について

平成28年4月より固定資産税の独自課税を導入するにあたり、議会において更なる財政改革を求める意見が多数出され、全員協議会政策調査部会において検討することとなりました。

部会では、財政を大きく圧迫している病院事業会計や伊賀南部環境衛生組合会計への繰出金等について着目し、調査、協議を行い、意見を取りまとめ、全員協議会において了承しました。

ついては、平成28年度以降の予算執行において反映されるよう、下記のとおり意見を申し述べます。



亀井市長からの回答

名財経 第 181号

平成28年9月20日

名張市議会議長 森脇 和徳 様

名張市長 亀井 利克



「財政改革に対する意見」への回答について

平成28年2月24日付けで提出のありました「財政改革に対する意見」について、別紙のとおり回答いたします。



市議会からの提言

中長期的課題

- ・新しい病院改革プランは、県の地域医療構想や地域医療調整会議と整合を図りつつ300床の採算病床確保に努め、将来に向けた地域の医療需要を十分把握したうえで、利用者本位のもので策定されたい。
- ・市立病院、介護老人保健施設、看護専門学校等各経営形態について、地方公営企業法の全部適用、地方独立行政法人化、指定管理者制度、民間譲渡などの導入を検討されたい。

亀井市長からの回答

○市立病院、介護老人保健施設、看護専門学校の各経営形態について、地方公営企業法の全部適用、地方独立行政法人化、指定管理者制度、民間譲渡などの導入を検討されたい。

⇒ 経営形態の見直しについては、平成28年3月に県が策定した「三重県地域医療構想の策定に向けて」において、伊賀地域における急性期機能の集約化、分化・連携、場合によっては統合、回復期機能の充実、地域包括ケアシステムにかかる体制整備などが求められていますので、地域医療構想の方向性を見据え、新しい病院改革プランにおいて検討しています。